

アルテルナンセラ ローヤルタペストリィ

アルテルナンセラ ローヤルタペストリィ

学名: *A. dentata*

種子粒数の目安: グラムあたり約 1,990 粒

プラグ生産ステージ

培地(プラグ苗生産用)

水はけがよく、ピート主体の新しい培地を用いましょう。
土壌 pH を 5.5-6.1、初期の EC 値を 0.75mmhos/cm
(1:2) 以下

プラグトレイのサイズ

288 から 406 穴くらいのサイズが適当。ヨーロッパで用いられる 264 穴などでも可能

播種

覆土はしない(保湿のためごく軽くは可能)。2、3 日で発芽します

温度

発芽適温:	18-24°C
子葉展開後:	20-21°C
本葉展開後:	19-20°C
プラグ育苗:	18-19°C

照度

発芽時:	発芽には不要です、質向上に効果があります
発芽後:	27,000-32,400 ルクス
成熟期:	54,000 ルクスを上限

湿度

子葉展開までは相対湿度を 95% に維持

土壌の水分

幼根が現れるまでは土壌の水分を十分に維持し、幼根が張っていくにしたがって徐々に下げる。その時、苗を枯らさないように注意しましょう

肥料

子葉が現れたら 15-5-15 の肥料を 5ppm(N) 与えます (EC 値は 0.3 以下)。子葉の張りにしたがって 15-5-15 の肥料(20-10-20 による代用可)を 100-150ppm(N) に上げていく(EC 値は 0.6-1.0)

矮化処理剤(PGR)

このステージではとくに必要はないが、生長制御あるいは均質化のためであれば、B ナインの 1,300-2,500 ppm で効果がある

鉢上げから出荷までの栽培管理

用土(鉢上用)

水はけがよく、ピート主体の新しい培地を用いる。土壌 pH を 5.5-6.2、初期の EC 値は中庸に維持

温度

昼間:	17-22°C
夜間:	16-19°C

低い温度で育てるほうが、茎や株がしっかりと強くなり、またコンパクトに仕上がる

光条件(照度)

できるだけ日にあてる

かん水

極端に過湿にしたり、乾かし過ぎたりしないようにする。苗を枯らさないように注意する

肥料

週に1度、15-5-15 の肥料を 200ppm(N)か、硝酸カルシウム・カリウムを主体に含んだ肥料を与える(EC 値は 1.2-1.3)。あるいは 20-10-20 の肥料を 200ppm(N)で代用することも可能

矮化処理剤(PGR)

B ナインを 5,000ppm で週 1 回散布すると、株が全体的にコンパクトになりまた葉色が濃くなる効果が確認されている。緯度の高いヨーロッパの土地などでは、B ナインを 1,600-2,500ppm で 4 日に 1 回くらいの頻度で与えるとより効果的。温度の高い土地では、ボンザイ 3-4ppm を鉢上げ後 1 週で与えても、やはり同様の効果が確認されている

ピンチ

ピンチは不要

平均的な生産期間

播種から鉢上げ(288-400 穴トレイ): 4-5 週

鉢上げから出荷(ポットで異なる): 6-7 週

ポットサイズ	定植 本数	鉢上げから 出荷	播種から出 荷まで
カットバック/ 9cm ポット	1	6-7 週	10-11 週
10 - 11cm	1	6-7 週	11-12 週
15 - 16cm	1-2	6-7 週	11-12 週

病例等

害虫 アブラムシが集りやすいことから、葉色に影響が現われたりまれに落葉することもあります

病気 とくに報告例はありません

注意点: EC 値(電気伝導度)は、ピート主体の北米の用土を算出の基準としているので、土を用いた配合では適し得ない場合があります。

2007 年 1 月 作成

PanAmerican Seed

PanAmerican Seed Co.

622 Town Road, West Chicago, Illinois, USA 60185-2698
630 231-1400 Fax: 630 231-3609 www.panamseed.com

©2006 Ball Horticultural Company PAS06202 10/06
Japanese translation version
Originally printed in USA PAS06202

™および®は、Ball Horticultural Company のアメリカ合衆国、またその他国における登録商標です。